

事業所名

千葉市大宮学園児童発達支援センター

支援プログラム

作成日

令和

8年

4月

1日

法人（事業所）理念		<p>○すべてのこどもが、かけがえのない存在として大切にされ、最善の利益が守られる社会を目指します。 ○こども一人ひとりの人格と意見を尊重し、自己実現をあたたく支援します。また、職務を通じて知り得た個人情報、丁寧かつ適切に取り扱い、確実に保護します。 ○専門性を高め続けることで、こどもとご家族に寄り添った、質の高いサービスの提供を目指します。 ○医療・保健・教育・児童福祉などの関係機関と連携・協力しながら、こどもに寄り添った支援を行います。</p>						
支援方針		<p>・利用児の身体及び精神の状況並びにそのおかれている環境に応じ、適切なサービスを提供します。 ・乳幼児期における親子関係の形成を支援するとともに、基本的な生活習慣の定着に向けた日常生活活動の支援を行います。 ・幅広いニーズに応えるため、専門性の異なる多様な職種の職員が連携し、それぞれの強みを活かした療育支援を行います。 ・保護者の方が主体性を持って子育てに取り組めるよう、育児に関する支援を通じて寄り添いながらサポートしていきます。 ・施設の持つ資源や機能を最大限に活用し、地域に根ざした支援を展開していきます。</p>						
1. 児童発達支援事業サービス提供時間		10時	00分から	16時	30分まで	送迎実施の有無	あり	市内を3台のバスで区域ごとのコース設定を行い運行します。また、利用状況に応じて運行コースの見直しを行います。 (親子通所 午後クラスを除く)
支 援 内 容								
対象児【クラス種別】		3歳以上児 【単独通所クラス（10：00～14：00）送迎有】		3歳未満児 【親子通所クラス（10：00～14：00）送迎有】		3歳以上児 【親子通所午後クラス（14：30～16：30）送迎無】		
本人支援	健康・生活	<p>・健康状態を把握しながら生活リズムの形成や丈夫な身体づくりに取り組み、子どもの健康状態を常に確認しつつ、必要に応じて医師の助言を踏まえて対応します。 ・食事、排泄、着脱、手洗いなど、基本的な生活習慣を身に付けられるように、スモールステップで支援を行います。</p>		<p>・それぞれの子どもの発達過程・特性等を踏まえ、病気の予防や安全に配慮した対応を行います。 ・子どもの健康状態を常に確認し、必要に応じて医師の助言を踏まえて対応します。</p>		<p>・遊びを通し、健康な心と体を育めるよう支援します。</p>		
	運動・感覚	<p>・色々な遊具や身体を使った遊びを通して体の動かし方を学び、運動の楽しさを感じるとともに運動機能の向上に向けて支援します。 ・プール遊び、砂、粘土、絵の具、紙遊び、ボールプール、音楽等の感覚遊びを通して、いろいろな感覚を受け入れ楽しく遊べるように支援します。</p>		<p>・感覚情報を十分に活用し、認知機能の発達を促す支援を行います。 ・本人に合わせたスモールステップの支援により、成功体験を積み重ね、自信や意欲に繋がっていきます。</p>		<p>・身体を使った遊びや手先を使った遊びを通し、筆記具操作など今後の学習につながる機能の向上を促します。 ・感覚の特性（感覚過敏、感覚鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をします。</p>		
	認知・行動	<p>・集いの中で、着席の持続や見る力、聞く力を育てます。また、個別課題学習では個々のニーズに応じた課題を提供し、操作性の向上や認知機能の向上を目指します。 ・見通しを持って安定した生活が送れるように、視覚支援を活用しスケジュールや活動の開始と終了など、活動の切り替えをスムーズに行えるように支援します。</p>		<p>・活動や人との関わりを楽しむ中で興味・関心を広げ、理解しよう、伝えようとする意欲を育みます。 ・やりとりを楽しむ中で子どもにあったコミュニケーション手段を見つけて家族と共有します。</p>		<p>・認知の特性を踏まえ、情報を適切に処理できるよう支援します。また、認知の偏りなど個々の特性に配慮した支援をします。 ・一人ひとりに合わせたスモールステップの支援により、成功体験を積み重ね、自信や意欲に繋がります。</p>		
	言語コミュニケーション	<p>・日々の生活や遊びを通して、分かりやすい言葉かけを心掛け、言語を受容し表出する支援を行います。 ・指差しや身振り、絵カード等のコミュニケーション手段を選択、活用し個々に合わせた支援を行います。</p>		<p>・活動や人との関わりを楽しむ中で興味・関心を広げ、理解しよう、伝えようとする意欲を育みます。 ・やりとりを楽しむ中で子どもにあったコミュニケーション手段を見つけて家族と共有します。</p>		<p>・活動を通して、他者の思いを理解する力や自身の思いを伝える力を育めるよう支援します。 ・遊びを通し、子どもや大人とのやり取りを育めるよう支援します。</p>		
	人間関係社会性	<p>・環境に対する安心感、人に対する信頼感を育み、人間関係や集団参加への基盤づくりを行います。 ・集団生活に必要な決まり事や社会性を身に付け、物事に取り組む意欲を育てます。</p>		<p>・安心できる大人との関わりや触れ合い、関係性を作れるよう、ひとりひとりに合った声掛けや関わり方を見つけます。 ・集団への参加を促し、興味関心を広げられるよう、様々な活動を提供します。</p>		<p>・集団への参加を促し、興味関心を広げられるよう様々な活動を提供します。 ・遊びを通し、子どもや大人との関わりやルール理解を育む経験を積み重ねます。</p>		

<p>家族支援</p>	<p>○保護者が障害を持つ我が子を理解し、より良い子育てができるよう支援します。また、個別相談にも、随時対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職や保育士、指導員による勉強会や個別相談会を実施し、お子さんへの関わり方、発達の見通しをもって支援します。 ・子育てなどの悩みに対して、個別に相談できる環境を設け対応します。 ・クラスごとに、保護者同士が子育てについて話合える機会を設けます。 ・お子さんの家庭での様子や他機関（医療機関含）での状況などについて、情報共有をすると共に悩みなどの相談、助言を行ないます。 ・保護者同士の交流が持てるよう、お話しなどの時間を設けます。 	<p>移行支援</p>	<p>○幼稚園・保育所（園）等の移行や数年後にある就学に向けた情報を得られるようにします。また、就学に向けた支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併行通園先の幼稚園、事業所と連携し、必要に応じて訪問する機会を設けます。 ・他集団への移行先決定後、移行先と連携を図ります。 ・就学先の小学校と連携を図ります。 ・保護者勉強会などを開催し、お子さんの理解を深めます。 ・学校生活に必要なことについて、園内で練習を積み重ねていきます。 ・就学までの流れの説明や卒園児保護者による講演会開催等、就学選択への情報提供・相談・助言を行います。 ・他集団や就学先の移行決定後に、移行先と連携を図ります。
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>○地域社会の資源としてサービスを提供し、家族が安心して生活できるよう支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、医療機関、保育所（園）、幼稚園、学校、相談支援事業所、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所など各関係機関と連携や訪問を実施します。 ・併行通園先の幼稚園、事業所と連携し、必要に応じて訪問する機会を設けます。 ・相談支援事業所に個別支援計画を送付し、支援について共通理解を図ります。 <p>○地域住民のニーズの多様化に伴い、単に利用児の支援の場としてではなく、地域社会の資源としてサービスを提供し、在宅障害児及び家族が安心して生活できるよう支援します。又、ボランティア等を積極的に受け入れ地域に開かれた施設運営を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の関係施設（保育所・幼稚園）と交流保育を行い、相互に影響しあひ必要な社会性等を養います。 ・必要に応じて、保育所（園）、幼稚園、学校、相談支援事業所、医療機関、他児童発達支援事業など各関係機関と電話連携や訪問を実施します。 ・相談支援事業所に個別支援計画を送付し、支援について共通理解を図ります。 	<p>職員の質の向上</p>	<p>○職員の資質向上のため、施設内外の研修に参加し、職員間で知識や情報を共有することにより、利用児の支援向上を図ります。（千葉県通園施設連絡協議会主催の職員研究大会・専門別研修会・療育セミナー等、全国児童発達支援協議会（東北関東ブロック）主催の施設長研修会・職員研修会等、福祉サービス苦情解決担当者・第三者委員会研修等、幼稚園・保育所・小中学校・特別支援学校・療育関係機関等との合同研修等）</p>
<p>主な行事等</p>	<p>入園式、講演会（OB講演会）、参観日週間、七夕会、芋ほり遠足、運動会、ハロウィン、社会体験遠足、発表会、クリスマス会、獅子舞い、豆まき会、ひな祭り会、卒園式、お別れ会等</p>		